

PDCAチェックシート

実施年度	令和 6 年度		
事務事業名	老朽危険空き家除却支援事業		
担当課名	都市整備課		
【Plan】計画	【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善
■目的 老朽化による倒壊などのおそれのある危険な空き家の除却を促進し、地域の安全安心な住環境の向上を図るため、市内に存する危険な空き家の除却を行う者に対し、補助金を交付する。 ■成果指標(アウトカム・KPI) ※ 【目標値】 ○補助金交付 15件 【達成値(R6実績値)】 ○補助金交付 18件	■具体的取組 ○ホームページによる情報発信 ○空き家所有者に対する空き家の適正な管理や危険建物の除却を促進する周知啓発 ○市のリーフレットや県のガイドブックを各窓口等に掲示し周知を図った ○窓口での相談対応を実施 ○老朽危険空き家等の除却支援 ○危険度が国の判定基準未満で補助の対象とならない空き家を「準老朽危険空き家」として、新たな市単独の補助制度を創設し、令和5年度から運用を開始した。 ■インプット(投入金額等) 事業費等 ○老朽危険空き家除却支援事業補助金 14,265 千円 ○老朽危険空き家除却支援事業補助金(準) 2,646 千円 ■アウトプット(数量等) 実施回数等 ○危険度判定実施件数 44件 ○除却実施件数 18件	■成果指標の具体的検証結果 (インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載) 管理が不十分な空き家の所有者へ啓発チラシを発送し、本事業の周知を図ったことにより目標値を上回る18件の除却を実施した。また老朽危険度判定を44件実施するとともに、老朽危険空き家15件、老朽危険空き家(準)16件の補助の対象となる相談を受けた。 空き家の増加に伴い、相談件数や近隣住民からの苦情相談も増加傾向にある。	■検証結果を受けての具体的対応 補助対象となった空き家の所有者には、速やかな申請ができるように個々のフォローを行う。 継続して空き家の適正な管理や危険建物の除却を促進する周知啓発を行う。 また近年予算額までには達していないが、補助対象となる判定数が増加しているため、令和7年度より10件分→15件分に増額し危険な空き家の除却を促進する。 ■評価 現状維持

※KPI … 重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。